

# 中海テレビ放送の 地域連携プロジェクト事例紹介と今後

平成30年3月23日(金)

株式会社 中海テレビ放送

代表取締役社長 加藤 典裕

## 中海テレビ放送の企業理念

## 中海テレビ放送のサービスエリア

### 事例1. 放送事業における連携

#### 1-1. 鳥取県・韓国D-Live社との番組共同制作

### 事例2. 通信事業における連携

#### 2-1. 総務省ICT街づくり推進事業

#### 2-2. 鳥取県ウェアラブルデバイス活用実証補助金

### 事例3. 環境エネルギー事業における連携

#### 3-1. 地域のエネルギーコンサルタントを目指した取り組み

#### 3-2. 電力小売サービス「Chukai電力」の取り組み

#### 3-3. 株式会社ローカルエナジーの設立

### 事例4. 地域活性化プロジェクトにおける連携

#### 4-1. 中海再生プロジェクトの取り組み

#### 4-2. 中海アダプトプログラム

#### 4-3. 米子文化奨励賞

# 中海テレビ放送の理念

# 中海テレビ放送の理念

- ✓ 中海テレビ放送は、放送・通信事業を通じて地産地消を実現してきました
- ✓ 今後は、新たにエネルギーの地産地消も加え、「生活応援企業」として「地域の人々が誰でも安心して暮らせる街づくりに貢献すること」を理念としています

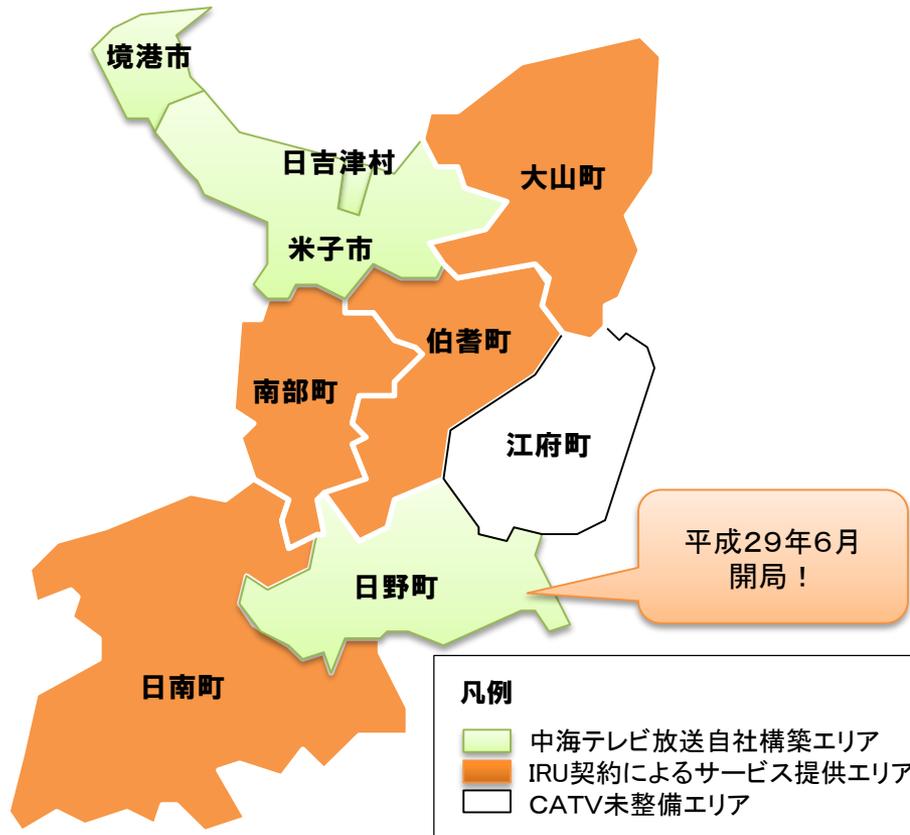
図表 中海テレビ放送の理念



# 中海テレビ放送のサービスエリア

- ✓ 中海テレビ放送は、鳥取県西部の2市5町1村をサービスエリアとしています
- ✓ このうち4町は、自治体が保有する放送・通信設備を長期安定的な使用権契約(IRU契約)で借り受け、サービスを提供しています

図表 中海テレビ放送のサービスエリア



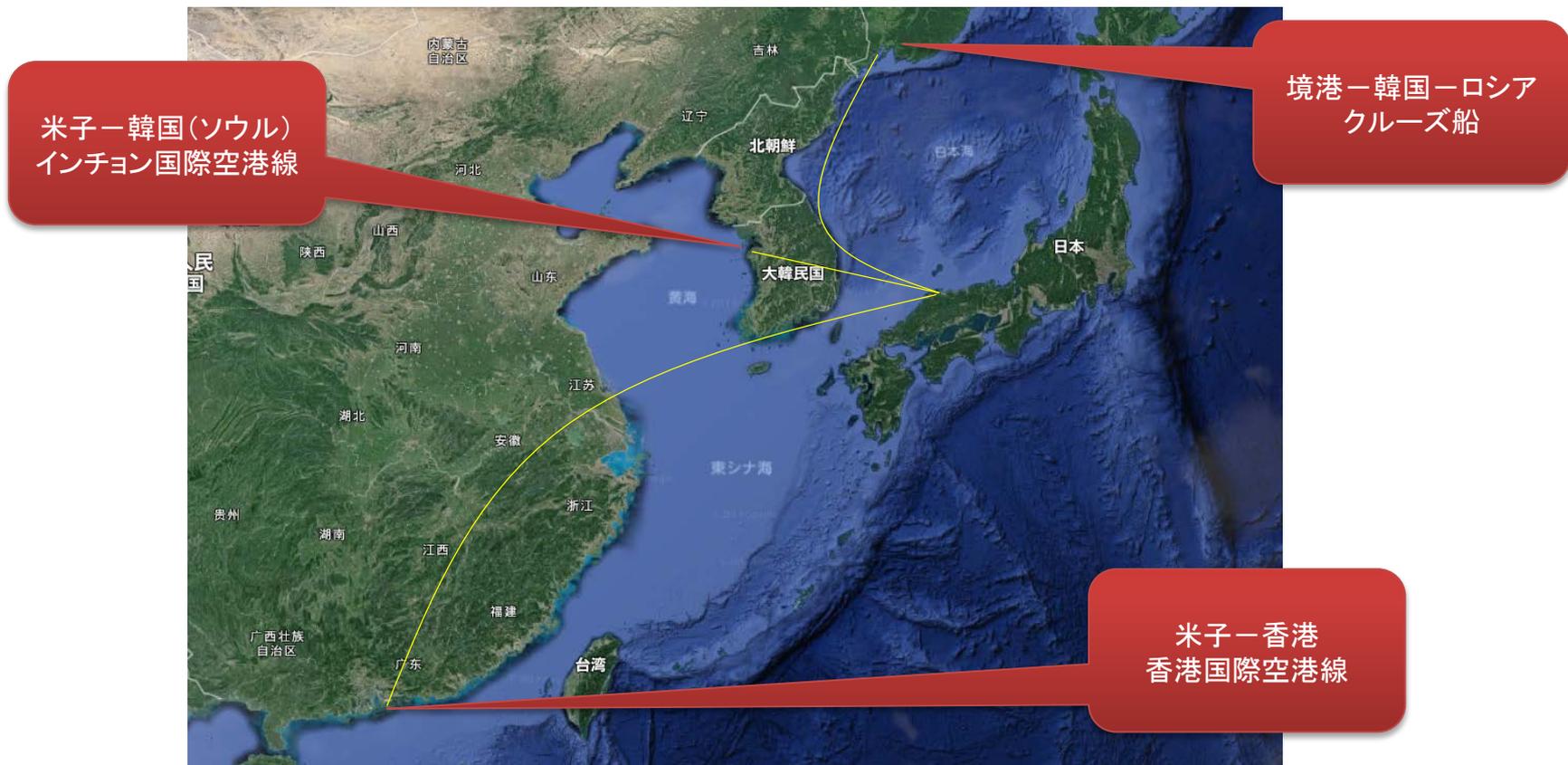
自治体と連携して  
サービス拡張・提供中！

# 1. 放送事業における連携

# 1. 鳥取県・韓国D-Live社との番組共同制作

- ✓ 鳥取県西部においては、韓国ソウル特別市、香港と結ぶ国際定期便(空路)と、境港と韓国東海市、ロシア・ウラジオストクを結ぶ国際定期便(海路)が就航しています

図表 鳥取県に就航する国際定期便(図はgooglemapより)



# 1. 鳥取県・韓国D-Live社との番組共同制作

- ✓ 鳥取県、韓国D-Live社(旧C & Mメディアワン社)と平成26年に基本合意書を締結し、相互に名所や文化を紹介する番組を共同制作しています
- ✓ 日韓交流促進を目的とし、当社制作番組「出会いふれあいそぞろ歩き」ロケを韓国で実施するとともに、当社MCと韓国世界遺産を巡るツアーを日本旅行と企画しました

図表 制作した番組抜粋



## 2. 通信事業における連携

# 1. 総務省ICT街づくり推進事業

- ✓ 総務省ICT街づくり推進事業に南部町と共同提案し、高齢者50名と児童50名参加でマイナンバーカードと同仕様の模擬カードを使った見守りサービスを実証しました
- ✓ 特に高齢者向けに、ケーブルテレビのSTB用いて自宅のテレビで個人認証を行い、体調管理や町健康管理センターによる見守りが可能な環境を構築しています

図表 総務省ICT街づくり推進事業「なんぶスマートライフ・プロジェクト推進事業」概要

内容  
実証

- ✓ 個人番号カードを模したICカードにより認証を行い、高齢者等が自身の健康状態をテレビのリモコンで簡単に登録できる仕組みを構築。登録したデータは町の健康管理センターの保健師が閲覧し、見守りと健康支援に活用。
- ✓ 町内の小学生にICカードを配布し、登下校時に学校、図書館等に設置したリーダーにカードをタッチすることにより、保護者にメールが届く仕組みを構築。保護者は、簡単なリモコン操作によりテレビ画面上でも行動履歴を参照。

効果  
成果

- ✓ アンケート調査を実施し、サービスの実現可能性等を調査。
- 例えば、高齢者見守りについては、アンケートでは62.0%の利用者がサービスの継続・実用化を希望し、「サービスが実用化された場合に支払ってもよい」と考える1人当たりの利用料は、平均488円/月。  
⇒328人以上に展開できれば事業化が可能となる見込み。

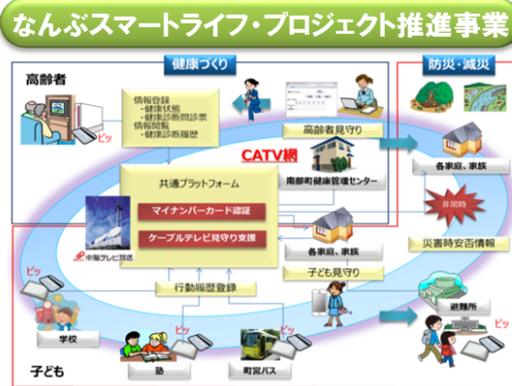
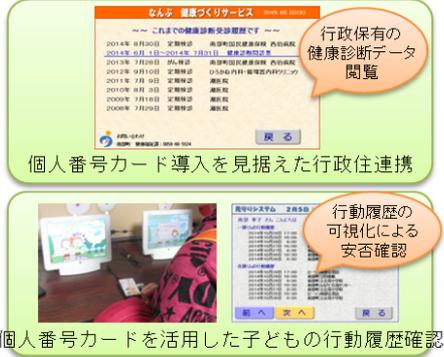


個人番号カードの読み取り

個人番号カードと次世代STBを利用した個人認証

日々の健康状態をクラウドへ登録

個人番号カードによる高齢者見守り

個人番号カード導入を見据えた行政住連携

行政保有の健康診断データ閲覧

行動履歴の可視化による安否確認

個人番号カードを活用した子どもの行動履歴確認

## 2. 鳥取県ウェアラブルデバイス活用実証補助金

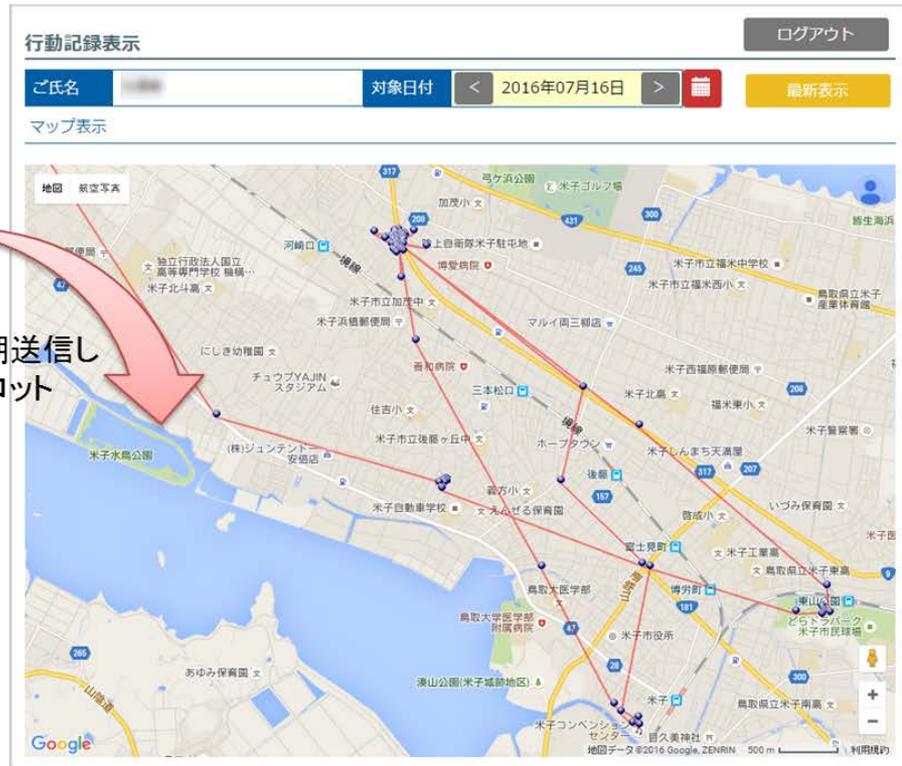
- ✓ 鳥取県「ウェアラブルデバイス活用実証」補助金に採択され、南部町において腕時計型やスマートフォン端末(IoTデバイス)を活用した見守り実証を実施しました
- ✓ 認知症徘徊対策、子どもの安全確保を目的に、GPS情報を定期的に自動で取得し、インターネット上で閲覧できる仕組みを構築しています

図表 鳥取県ウェアラブルデバイス活用実証「Chukaiセーフティマネジメントシステム構築事業」概要



ウェアラブルデバイスの例(実証端末)

GPS情報を定期送信し  
地図上にプロット



### 3. 環境エネルギー事業に おける連携

# 1. 地域のエネルギーコンサルタントを目指した取り組み

- ✓ 電力小売事業に先駆けて、買い取り価格向上による新たな事業の機会を逃さないことと、電力サービスに関するノウハウ取得のため、太陽光発電システムの販売および自治体施設等の屋根借り発電事業を2012年10月に開始、地域のエネルギーコンサルタントを目指しています

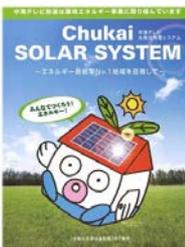
図表 中海テレビ放送の環境エネルギー事業

## 電力小売事業 (2016年4月開始)

### 太陽光発電システム販売事業



平成24年10月スタート



中海テレビ放送独自の設置特典や促進制度、補償制度を展開し、約100件設置中  
蓄電池、カーポート、エコキュートも取扱い

### 屋根借り発電事業



#### 【実績】

- ・米子市所有4施設(合計154kW)
- ・民間7施設(合計143.57kw)

#### 【特徴】

- ・屋根工事・太陽光発電設置工事、電気設備工事及び維持管理等は、全て米子市内企業で対応。
- ・発電量の見える化システムを提供。
- ・災害時における通信手段の確保としてWi-Fiの完備など。



(見える化システム)

#### 【屋根借り施設一例】

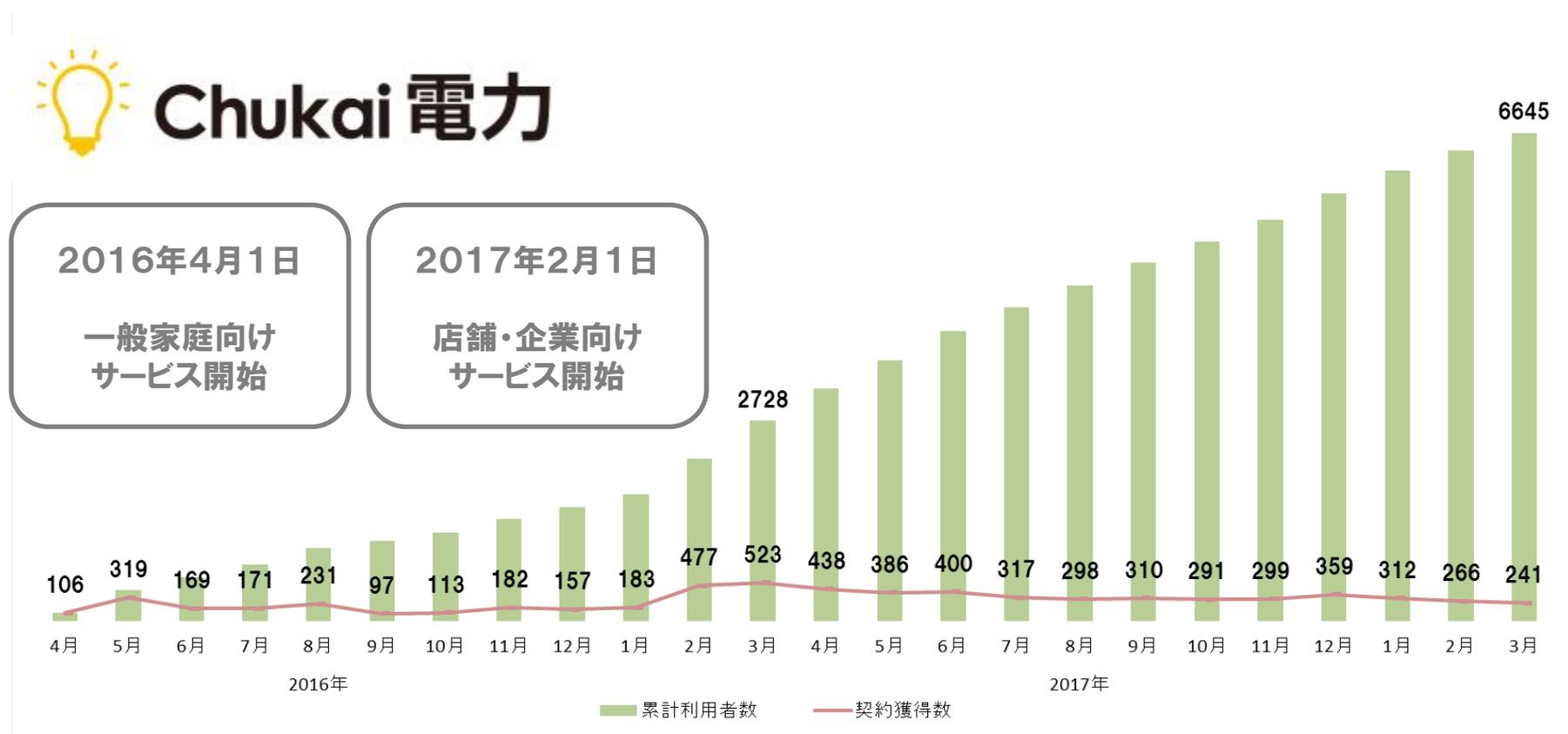


# 地域のエネルギーコンサルタントへ

## 2. 電力小売サービス「Chukai電力」の取り組み

- ✓ 2015年12月に経済産業省に小売電気事業者登録を実施し、2016年4月に電力小売事業を開始以後、多数のお客様に電力サービスをご利用いただいています

図表 Chukai電力 加入契約者数推移(運用数ベース、2018年3月度は未確定)



# 3. 株式会社ローカルエナジーの設立

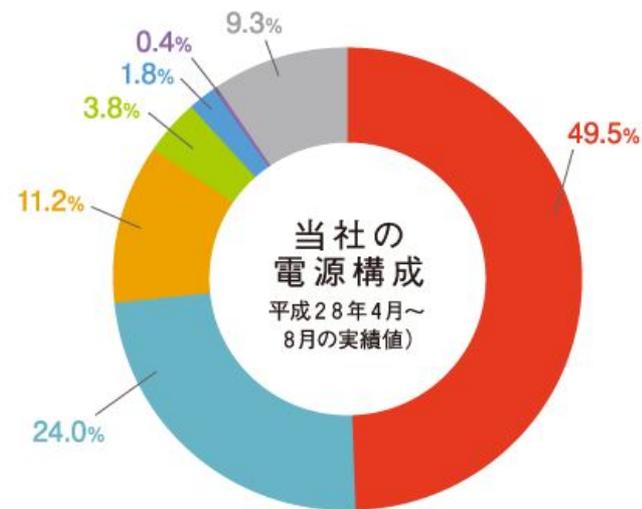
- ✓ 米子市および中海テレビ放送を含む地元企業5社の出資で2015年12月に設立し、2016年10月より、中海テレビ放送の電力卸供給と需給管理業務を委託しています
- ✓ 2018年3月現在、鳥取県西部の自治体が保有する施設を中心に、約320施設、約400契約の電力供給を実施しています

図表 株式ローカルエナジーの紹介(ローカルエナジーHPより)



Tel:0859-57-5415  
Fax:0859-57-6827

PHILOSOPHY 企業理念	ABOUT 事業内容	COMPANY 会社情報	INSPECTION 視察について	NEWS 新着情報	CONTACT お問合せ
<p>エネルギーの 地産地消で地方創生</p> <p>OUR VISION →</p>		<p>MESSAGE ごあいさつ</p> <p>エネルギーの地産地消による 新たな経済基盤の創出</p>		<p>ENERGY エネルギー</p> <p>わたしたちが提供する 電力について</p>	
<p>この地域だから 生まれた会社です</p> <p>PROLOGUE →</p>		<p>APPLICATION OF VISIT 視察のお申込</p>		<p>RECRUIT 採用情報</p>	



- FIT電源(廃棄物:米子市クリーンセンター)
- 廃棄物(米子市クリーンセンター)
- 廃棄物(非公表)
- FIT電源(太陽光:ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク)
- FIT電源(太陽光:中海テレビ放送太陽光発電所)
- FIT電源(地熱:協和地建コンサルタント湯梨浜地熱発電所)
- 日本卸電力取引所

## 4. 地域活性化プロジェクトに おける連携

# 1. 中海再生プロジェクトの取り組み

- ✓ 「中海再生プロジェクト」は、環境に関する市民団体・学術研究機関・民間企業・行政職員で構成し、2002年2月27日に発足、2007年にNPO法人化しました
- ✓ 中海テレビ放送制作の「中海物語」でプロジェクトの活動を紹介したり、「中海体験クルージング」「中海アダプトプログラム」等の事務局を務め、環境改善に取り組んでいます

図表 中海再生プロジェクトの取り組み

### ◆「中海物語」(中海テレビ放送制作)

【内容】2001年放送開始。「後世に誇れる中海にしよう」をキーワードに中海再生プロジェクト発足の基となる。

### ◆「中海未来マップ」作成

【内容】市民が望む中海の姿や中海への夢を広く募集し、中海の未来像を市民と協働で描く取り組みの一環として「ポスターコンクール」や「中海夕暮れコンサート」等を実施。



## 2. 中海アダプトプログラム

- ✓ 中海アダプトプログラムとは、中海湖岸を、地域の企業・市民団体・学校などが割り当てを受けた範囲を責任を持って美化活動に取り組む仕組みで、米子市、境港市、安来市の中海湖岸をエリアに活動、鳥取・島根の両県知事も毎年参加されます
- ✓ 2005年、中海・宍道湖がラムサール条約に登録されたことを受け、2006年4月に中海アダプトプログラム開始式が行われ、2016年4月現在、約95団体が登録されています

図表 中海アダプトプログラムの取り組み

護岸清掃の様子



平井鳥取県知事、溝口島根県知事も参加



- ✓ 中海テレビ放送は、米子市が実施している「文化奨励賞(米子市の文化の振興に貢献し、その活動実績が高く評価され、今後ますますの活躍が期待される方々への表彰)の選考委員に任命していただき、副賞の提供等を行っています

図表 中海アダプトプログラムの取り組み

